

発問場面における授業者の視線行動 ー熟練教師と教育実習生の比較を通してー

○有馬道久 (香川大学)

井上奈未 # (丸亀市立城乾小学校)

キーワード：発問場面，教師，視線行動

目 的

教師は、授業の要とされる発問場面において、どこを注視しているのか。本研究では、発問過程を「発問中ー指名までー児童発言中ー授業者応答中」の4過程に分けたうえで、熟練教師と教育実習生（以下、実習生と略す）の視線行動を、教室の区画や対象別の注視頻度から比較検討する。

方 法

授業者と児童 国立K大学教育学部附属小学校の教員3名（教職経験年数9～18年、男性2名、女性1名）と同校で教育実習中の教育学部3年生3名（男性1名、女性2名）を授業者とした。児童は、3年生3クラス（各クラス、男子17名、女子18名、計35名）であった。実施授業は、実習生1名が道徳を行った他はすべて算数であった。

録画装置と録画手続き 録画には、アイマークレコーダ EMR-9（nac 社製）を用いた。授業者は頭部にアイマーク検出ユニットと視野カメラからなるヘッドユニットを装着し、腰に録画ユニットを装着し、授業者の視点から授業を録画した。

リフレクション手続き 授業後、授業者視点映像を見ながら、指名意図など自由に話してもらった。

結果と考察

座席表をもとに教室を9～10区画に分けたうえで、授業者視点映像をもとに授業者の注視点を観

察記録し、注視時間に関わりなくカウントした。

その結果まず、“発問中”の熟練教師は、注視頻度の70%が“広範囲の児童”（児童4名からなる1区画）であった。実習生も“広範囲の児童”を見ることが多かったが、熟練教師より少なかった。その代わりに、“何もない場所”を見ていた。しかし、リフレクションによるとその自覚はなかった。

つぎに、“指名まで”の注視点は、熟練教師が“特定の児童”が最も多く、次いで“広範囲の児童”であったのに対し、実習生はその逆であった。熟練教師は、児童の挙手やつぶやき、ノート内容などをもとに指名した点が違いの理由と考えられる。

また、“児童発言中”については、まず合計頻度が熟練教師の方が3倍以上も多かった。割合から見ると、実習生が“何もない場所”が多く、熟練教師が“黒板”が多いという特徴があった。

最後に、“授業者応答中”についても、注視頻度の合計が熟練教師の方が2倍近く多かった。割合から見ると、熟練教師が“特定の児童”が多いのに対し、実習生は、“教卓の資料・教科書”や“何もない場所”が多いという違いが認められた。

熟練教師もリフレクションの際に映像を見て、自らの注視点に気づくなど、総じて無自覚の視線行動が多かったが、その多くは意図的であった。意図の有無が実習生との大きな違いと考えられる。

表 1 発問過程別にみた熟練教師と教育実習生の対象別の平均注視頻度 () 内は%

過程	授業者	過程頻度	広範囲の児童	特定の児童	児童のノート/教科書	黒板	教卓の資料・教科書	何もない場所	その他	計
発問中	熟練教師	8	15.7 (70.1)	5.0 (22.4)	0.0 (0.0)	0.7 (3.0)	0.3 (1.5)	0.7 (3.0)	0.0 (0.0)	22.4 (100)
	教育実習生	12	11.7 (45.5)	1.7 (6.5)	0.0 (0.0)	2.7 (10.4)	3.0 (11.7)	6.7 (26.0)	0.0 (0.0)	25.8 (100)
指名まで	熟練教師	32	10.3 (30.1)	14.7 (42.7)	0.0 (0.0)	4.7 (13.6)	2.3 (6.8)	1.0 (2.9)	1.3 (3.9)	34.3 (100)
	教育実習生	26	8.3 (43.9)	4.7 (24.6)	0.0 (0.0)	0.7 (3.5)	1.7 (8.8)	3.7 (19.3)	0.0 (0.0)	19.1 (100)
児童発言中	熟練教師	32	126.7 (38.4)	77.0 (23.3)	1.7 (0.5)	88.7 (26.9)	20.0 (6.1)	11.0 (3.3)	5.0 (1.5)	330.1 (100)
	教育実習生	26	32.3 (32.9)	20.7 (21.0)	0.0 (0.0)	15.0 (15.3)	9.0 (9.2)	21.0 (21.4)	0.3 (0.3)	98.3 (100)
授業者応答中	熟練教師	32	113.3 (50.1)	41.7 (18.4)	1.0 (0.4)	47.7 (21.1)	8.0 (3.5)	11.7 (5.2)	2.7 (1.2)	226.1 (100)
	教育実習生	26	56.0 (42.3)	11.3 (8.6)	0.0 (0.0)	22.0 (16.6)	23.0 (17.4)	19.7 (14.9)	0.3 (0.3)	132.3 (100)